

<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/111/> ※イラストはGemini / ChatGPT / Microsoft Copilot & いらすとや



広報ひろ



令和8年 8月号

夏に帰る心 精霊馬に見る日本の心

梅雨明けの便りとともに、夏空が眩しく感じられる頃となりました。まもなく迎えるお盆は、先祖や家族とのつながりに静かに思いを寄せる季節でもあります。皆さまは“精霊馬(しょうりょううま)”をご存じでしょうか。キュウリやナスに、**麻幹(おがら)**——皮をはいだ麻の茎——で足をつけた、お盆の小さな乗り物です。麻幹がない場合は割り箸などで代用し、迎え盆から送り盆まで仏壇や玄関先に飾られます。キュウリは“**迎えの馬**”。ご先祖様に少しでも早く帰ってきていただきたいという願いが込められているのです。一方、ナスは“**送りの牛**”。名残を惜しみながら、ゆっくり帰っていただくという祈りです。この風習は主に東日本に見られますが、祖霊を“乗り物”で迎え送る発想は古くから各地にあったようです。目に見えない存在に“形”を与える——そこに日本文化の奥深さがあります。日本人は古来、“想い”を形にしてきました。七夕には願いを短冊に託し、正月には門松で歳神様を迎え、秋には月を愛でる…。精霊馬もまた言葉だけでは届かない感情を表した風習なのでしょうね。

近年、山形県の海沿いの地域では、“精霊馬”ならぬ“**精霊車**”を飾る風習が話題になりました。ミニカーを吊し、“もっと速く、快適に帰ってきてほしい”と願うのだそうですよ。馬から車へ形は変わっても、“早く帰ってきてほしい”、“少しでも長く一緒にいたい”という想いに変わりはないということです。

伝統とは形を守るだけでなく、心を受け継ぐことなのだと感じます。お盆は普段の忙しさの中で忘れがちな“**つながり**”を思い出す時間でもあります。今年のお盆は、“**おかえりなさい**”とご先祖様を迎えてみてはいかがでしょうか。受け継がれてきた想いはきっと食卓のどこかで静かに微笑んでいることでしょう。 **館長 細川**



広まちづくりセンターからのお知らせ 8月20日(木)受付開始の短期講座

①煎茶道(小笠原流)

対象 18歳以上
日時 10/9, 12/11, 1/8,
2/12, 3/12
(全て金曜日) 13:00~15:00
場所 広市民センター6F 605室
料金 4,000円
定員 先着15名



②秋色ドライのバタフライスワッグ ~お部屋を彩る壁飾り~

対象 18歳以上
日時 10/7(水) 10:00~12:00
場所 広市民センター6F 606室
料金 2,700円
定員 10名(先着)



③親子でつくる手ごねパスタ講座 ~トマトソースで 味わうラビオリ~

対象 小・中学生+保護者
日時 10/3(土) 10:00~13:00
場所 広市民センター6F 603室
料金 一人1,200円(保護者も必要)
定員 12名(先着)



毎月10日発行 No.355号 **広地区の人口**
【編集・発行所】 **5月末(4月比)**
広まちづくりセンター **人口 41,882(+13)**
〒737-0112 **●男 20,347(+26)**
呉市広古新開2丁目1番3号 **●女 21,535(-13)**
(電話)71-2151 (FAX)73-5034



要害がいかに堅固であっても人の心が一つでなければものの用をなさない。武士は名こそ惜しけれ、義のためには命も惜むべきはない。財宝など塵あくたと思わぬ覚悟が常にあるべきである。お前も褒めてもらいたければ、自分で手柄を立てろ。武士は分に過ぎた高価な馬を持つてはならない。 **竹中半兵衛**

広まちづくり推進協議会からのお知らせ 第8回広地区盆踊り・新広音頭総踊り大会



地域コミュニティの夏の風物詩として、現在では誰でも気軽に楽しめる参加型のお祭りとして親しまれている“**盆踊り大会**”を開催します。また、伝統の一つとして後世に継承し、“**新広音頭**”もより多くの方に知っていただき、地元愛を深めていただくことを目的としています。

当日は、飲食コーナーや遊びのコーナーのほか、毎年好評をいただいている大抽選会も実施いたします。ご家族やご友人お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 令和8年8月2日(日)

17:00~21:00 飲食・遊びコーナー

18:00~20:30 盆踊り

※新広音頭を時間帯ごとに分けて踊ります。

20:30~20:50 大抽選会

※抽選番号は、17:00 から受付にて配布するうちわに記載されています。

※うちわの配布はお一人様1枚、**先着500名様**までとなります。

20:50~21:00 総踊り

会場 広島国際大学グラウンド

※内容が変更になる場合があります。ご了承ください。



短期講座の“感想をありがとう!” 絞り袋でチャレンジ! はじめてのメロンパン

今回の講座について自由にご意見をお願いします。



○楽しかった。○まぜるのがたのしかった。○メロンパンをつくるのはむずかしいと思ったけど先生の教え方が上手でよくわかりました。○メロンパンを作るのがむずかしかった

けどとてもたのしかった。○とてもたのしかったです。新しいことをまなべてよかったです。○この講座では家ではなかなかできないパンを作ることができてとても楽しかったです。特にパンきじをたたくことはなかなかできないので特別感があって楽しかったです。○楽しかったし、メロンパンの作り方がよくわかったのでよかったです。作っている途中でもうおいしそうでした。



今後どのような講座があれば参加したいですか。

- デコレーションケーキ
- アイシングクッキー
- クロワッサン ○ケーキ
- ドーナツ ○お菓子教室
- アイス ○だんご ○パン教室
- アンパンマンパン ○ゼリー
- 子どものおかしづくり
- スコーン ○料理の講座



【絞り袋でチャレンジ! はじめてのメロンパン】

広図書館からのお知らせ

開館時間 9時30分~20時00分

休館日: 木曜日・祝日

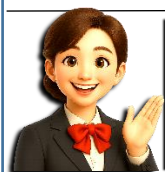
* 8月の休館日:

6日(木)・11日(祝/火)・13日(木)・

20日(木)・27日(木)

お問い合わせ 呉市広図書館 ☎ 71-7470

※8月は、えほん会の開催はありません。



広まちづくりセンター休館日
8月は24日(月)です。

色彩豊かな折り紙と心温まる絵てがみ



広まちづくりセンターでは多くの自主サークルの皆さまがそれぞれの趣味や特技を生かしながら楽しく活動されています。今回は、“広折紙同好会”と“絵てがみサークル広教室”の皆さまの作品をご紹介します。干支にちなんだ色鮮やかな馬の折り紙作品や季節の花や野菜など身近な題材を温かみのある筆づかいで描いた絵てがみからは、会員の皆さまの楽しそうな活動の様子や作品に込められた思いが伝わってきます。これらの作品は、5階エレベーターホール前のガラスショーケースに展示していますのでこちらにお越しの際はぜひ足を止めてご覧ください。

熱中症に注意! 夏を元気に過ごすポイント

気温や湿度が高い日が続くと、熱中症のリスクが高まります。重症化すると命に関わることもあるため、早めの予防が大切です。のどが渇く前からこまめに水分や塩分を補給し、特に暑さ指数(WBGT)が高い日は意識して水分を摂りましょう。長時間の屋外活動はできるだけ避け、日陰や涼しい室内で休憩を取ることも重要です。帽子や日傘を活用し通気性の良い服装を心がけるとともに、室内ではエアコンや扇風機を上手に利用して熱中症を予防しましょう。



夏にできる省エネの工夫(無理なく続ける節電のポイント)

夏はエアコンの使用が増え、家庭の電力消費が高くなる季節です。快適に過ごしながら省エネを心がけることで、電気代の節約だけでなく環境にもやさしい暮らしにつながります。

エアコンは無理に使用を控えず、室温や体調に合わせて適切に使いましょう。扇風機やサーキュレーターを併用すると冷房効率が上がり、省エネにも効果的です。また、フィルターを定期的に掃除することで無駄な電力消費を抑えられます。

さらに、すだれやカーテンで直射日光を遮ると室温の上昇を防げます。朝夕の涼しい時間帯には窓を開けて風を通し、自然の涼しさを取り入れるのもおすすめです。使わない部屋の照明や家電の電源をこまめに切るなど、一人ひとりの小さな心がけが暑さ対策と省エネにつながります。

高齢者支援課からのお知らせ 高齢者向けスマートフォン教室のご案内

初心者歓迎。スマートフォンの基本操作から学び、便利な使い方を身につけてみませんか。講座では、一人一台スマートフォンを貸し出します。

内容: ○マップやカメラを使ってみよう

○初めての生成AI

対象: 呉市に住民登録がある65歳以上の人

日時: 8月21日(金) 14:00~16:00

場所: 広市民センター6階 601室

料金: 無料 定員: 20名

申込: 7月21日(火) 8:30から

電話により先着順で受け付けます。

問合せ: 高齢者支援課 ☎ 25-3104



ひろ協働センターからのお知らせ

ひろ協働センターでは、“ボランティア募集情報”や“ボランティア・まちづくり・地域に関するイベント情報”の掲示を随時行っています。センター内の展示スペースでは、地域の情報紙や団体の会紙をはじめ、呉市内の地域のマップも展示しています。ボランティアや地域の情報について知りたい方は、お気軽に広市民センター4階の“ひろ協働センター”にお立ち寄りください。

開館時間 9時~17時 休館日 水曜日 ☎ 71-0321

編集後記 軒下のノスタルジー・風鈴が運ぶ歴史の風暑さと記憶のあいだで

エアコンの効いた室内が増えて軒下でチリンと響く風鈴を見かけなくなりました。どこか郷愁を誘う音ですがルーツは涼むためではなく、古代中国の“占いの道具”でした。日本へ伝わ



るとお寺の軒先に吊るす“魔除け”として姿を変えたのです。当時は“強い風が災いを運ぶ”と恐れられたためあの音でバリアを張り、身を守ろうとしたのです。江戸時代に今のガラス製となり、“音が鳴る=風が吹いた”と脳に錯覚させて涼む文化が定着しました。五感で涼を演出する我々の先人の感性は実に粋なものです。㊦